

① スtockマネジメント実施方針

【状態監視保全】…

機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

【時間計画保全】…

機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な施設または調査をすることが経済的に不利となる施設を対象とする。

【事後保全】…

機能上、特に重要ではない施設を対象とする。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築判断基準	備考
マンホール (本体)	1回/5年の頻度で点検を実施、 異状を確認した場合には調査 を実施。	緊急度Ⅰで改築を実施	腐食環境下
管渠	1回/5年の頻度で点検を実施、 異状を確認した場合には調査 を実施。	緊急度ⅠもしくはⅡで 改築を実施。	腐食環境下
管渠	1回/15年の頻度で点検を実施。 異状を確認した場合には調査 を実施。	緊急度ⅠもしくはⅡで 改築を実施。	一般環境下

【処理場・ポンプ場】

施設名称	点検・調査頻度	改築判断基準	備考
該当なし	—	—	—

2) 時間計画保全施設

【管路施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
圧送管	75 年	—
マンホール(本体)	75 年	一般環境下

【処理場・ポンプ場】

施設名称	目標耐用年数	備考
該当なし	—	—

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管路施設】

...

該当なし

【マンホールポンプ】

...

1 基あたり 2 台のポンプの交互運転で稼働しているため、事後保全でもその機能を維持できるほか、ポンプの稼働状況は 24 時間体制で監視しており、異状に対して迅速に対応できるため。

③ 改築実施計画

1) 計画期間

令和 7 年度 ~ 令和 11 年度

2) 個別施設の改築計画

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	対象延長 (m)	概算 費用 (百万円)	備考
中処理分区	汚水	管きよ	S51	48	5,377	115	大庭台団地及び 西田団地

備考1) 改築を実施する施設のうち、②1) において状態監視保全施設もしくは②2) において時間計画保全施設に分類したものを記載する。

備考2) 対象施設には、改築を行う部位、設備名称を記載する。記載にあたっては、「下水道施設の改築について(令和4年4月1日 国水下水第67号 下水道事業課長通知)」別表の中分類もしくは小分類を参考とする。

備考3) 「下水道施設の改築について(令和4年4月1日 国水下水第67号 下水道事業課長通知)」別表に定める年数を経過していない施設については、備考欄において、同通知に定める「特殊な環境により機能維持が困難となった場合等」の内容について、以下の該当する番号および概要を記載する。

- ① 塩害など避けられない自然条件あるいは著しい腐食の発生など計画段階では想定しえない特殊な環境条件により機能維持が困難となった場合
- ② 施設の運転に必要なハード、ソフト機器の製造が中止されるなど、施設維持に支障をきたす場合
- ③ 省エネ機器の導入等により維持管理費の軽減が見込まれるなど、ライフサイクルコストの観点から改築
- ④ することが経済的である場合
- ⑤ 下水道施設の耐震化を行う場合
- ⑥ 浸水に対する安全度を向上させる場合
- ⑦ 下水道施設の耐水化を行う場合
- ⑧ マンホール蓋浮上防止対策を行う場合

備考4) 改築事業の実施にあたっては、別途、詳細設計等において、効率的な手法等を検討すること。

④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

概ねのコスト縮減額	試算の対象時期
約 118 億円	概ね 100 年